

**電気電子工学委員会デバイス・電子機器工学分科会
エレクトロニクス産業と学術小委員会(第 25 期・第1回)
議事録**

1. 日時 令和 3 年 11 月 22 日(月) 13:00 - 15:10

2. 会場 遠隔会議

3. 出席者: (12 名)

大橋委員*、中野委員*、森委員*、為近委員*、小野寺委員*、高木委員*、富永委員*、波多野委員*、若林委員、山本委員、藤島委員、小林委員

(*は分科会会員、他は学術小委員会会員、敬称略) ※委員全 14 名中 12 名参加により、成立。

4. 議事

1) エレクトロニクス産業と学術小委員会の体制について

第 25 期デバイス・電子機器工学分科会エレクトロニクス産業と学術小委員会の委員長の選出が行われ、大橋委員が推薦され、承認された。続いて、副委員長に森委員、幹事に為近委員、高木委員が承認された。

2) 委員会の主旨説明および委員紹介

大橋委員から、小委員会の趣旨の説明と委員の紹介があった。

3) エレクトロニクス産業と学術小委員会の進め方について

本委員会が主として考える半導体産業領域の現状を理解するために、小委員会の委員 2 名によるプレゼンテーションと委員間での質疑を行った。

最初に、若林委員から、「エレクトロニクス産業の現状」と題する講演がなされ、先端 CMOS 技術動向、現状の問題認識、我が国の今後の半導体分野に向けての提言まで、幅広い内容での総括が行われた。次に、山本委員から、「第二の成長サイクルに入る半導体業界」と題する講演がなされ、エレクトロニクス産業全体を俯瞰する観点で、半導体技術のこれまでと今後の動き、技術発展のキーとなるコンセプトなどについての紹介がなされた。

以上の講演を踏まえて、小委員会として検討すべき内容や方向性についての議論がなされた。今後の進め方として、大橋委員から、今回の講演内容を整理した上で、特に重要な項目に関して、個別に詳細な議論を行う場をもつこと、過去の振り返りをした上で今後のシナリオを考えていくことなどを方針とすることが提案され、合意された。

4) その他

- 今後の小委員会活動において、メール審議を行うためにも、委員間のメールアドレス共有が提案され、承認された。

- ・ 委員会の議事要旨は、委員会開催後 8 週間以内に提出・公開が必要である。議事要旨作成後、速やかに委員に回覧し、最終的な承認は、委員長に一任することが提案され、承認された。

以 上